

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 下越森林管理署 村上支署
所在地	新潟県 村上市
面積	21,718.77 ha
設定年	2003(H15)年 3月
保護林の概要 (設定目的)	朝日連峰は、我が国最大規模のブナ林等原生的な自然状態が維持されていることに加え、低地から高山帯まで広範な植生帯が存在し、多様な動植物が生息・生育している。このため、これらの原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2008年、2013年、2018年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナ群落、自然低木群落の生育地において調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に2つ調査ルート設定し、保護林内における出現種を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	森林調査、動物調査について、前回調査と比較し特に変化は確認されなかった。ブナ群落についても、次世代を担う低木層や実生の更新を確認した。病虫害、鳥獣害による影響も確認されず、本森林生態系保護地域は良好な状態で維持されている。 なお、過年度調査時に報告されていたナラ枯れについては、今回の調査では確認されず、終息したものと考えられる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。